

# 庄内地域における地域・職域がん検診受診者数把握調査報告 (概要)

がん検診受診向上研究会(事務局:庄内保健所)では、地域におけるがん検診受診者数の把握を目指して、平成20~22年度の「地域検診」、「職域検診」、「任意型検診」の受診者数を把握する調査を平成23年度に実施しました。その結果、平成22年度の受診者総数は、主要部位において増加傾向にあり、また「職域検診」が「地域検診」に比べて増加率、増加数ともに大きいことがわかりました。

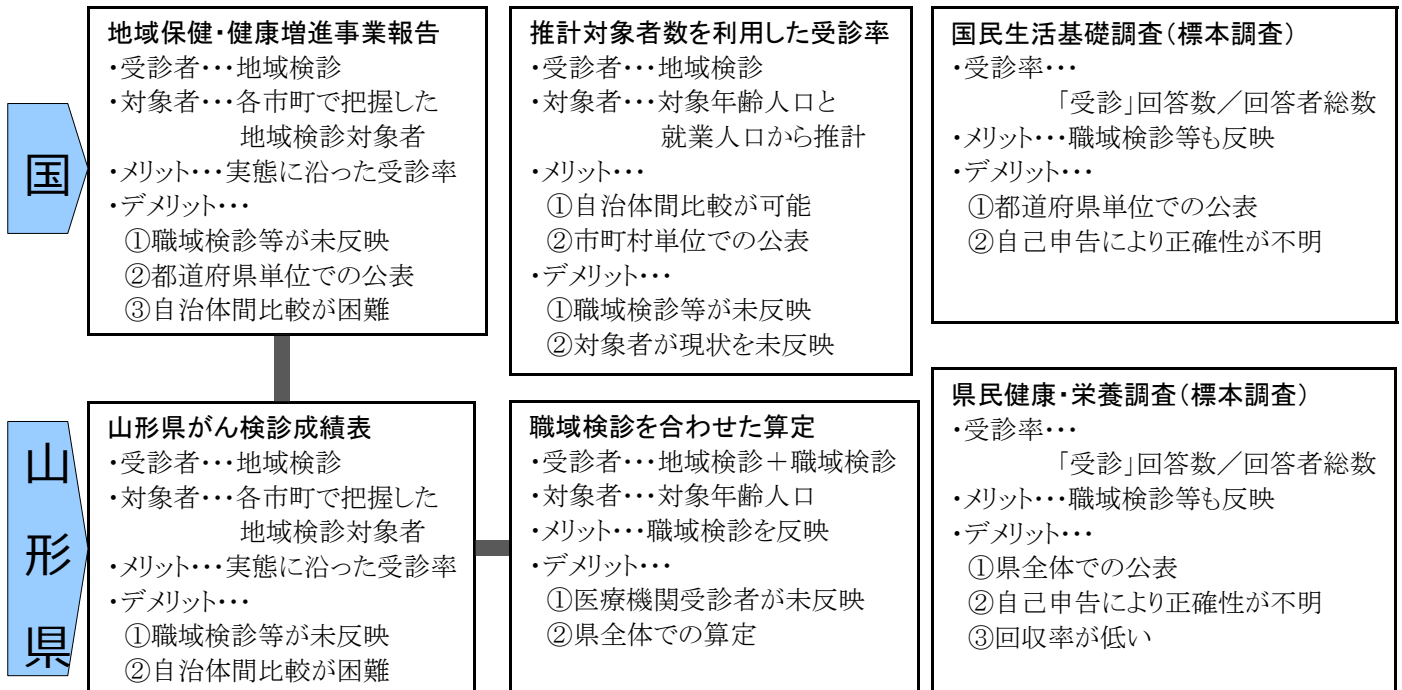
## 1. なぜ調査が必要か? ⇒詳細は報告書第1章

国の受診率目標...平成23年度に50%

県の受診率目標...平成24年度に胃がん、大腸がん、乳がん60%/肺がん、子宮がん50%

しかし...

実態に合わせた対象者を把握して、「地域検診」「職域検診」「任意型検診」の受診者を網羅し、かつ地域比較が可能な受診率の算定は困難な状況にある



必要なのは、地域内における職域検診と任意型検診の受診者数の把握。

## 2. 調査方法 ⇒詳細は報告書第2章

### ① 検診実施主体等への調査による把握

#### ■ 把握方法

当地域における、県内外の医療保険者の被保険者・被扶養者、自己負担による人間ドック等のがん検診受診状況を把握するため、平成20~22年度の受診者数についての各機関へ照会し集計

#### ■ 照会先

- 「地域検診」受診者数 → 管内市町(5市町)
- 「職域検診」受診者数 →
  - 保険者に照会 : 県内健保組合・国保連・共済組合(12機関)
  - 検診実施機関に照会 : 労働基準協会分  
協会けんぽ分  
県外健保組合分  
自己負担任意型検診分

### ② 市町の『意向調査申込書』による把握

#### ■ 把握方法

管内市町が毎年度取りまとめている、がん検診受診の意向調査申込書により、「職場で受診する」とした人数を照会し集計

#### ■ 照会先

職域検診受診者を把握している管内4市町

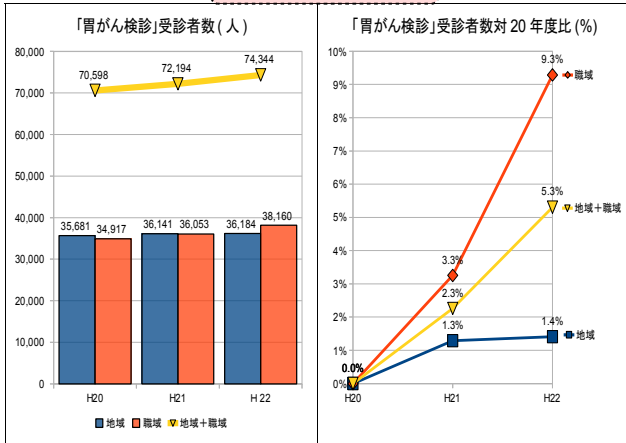
調査結果は裏面へ ▶▶

### 3. 調査結果 ⇒詳細は報告書第3章

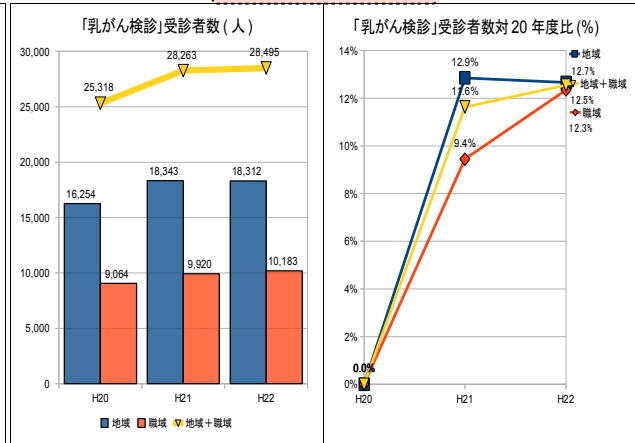
#### ① 検診実施主体等への調査による把握

- 胃がんと大腸がんでは「地域」「職域」がほぼ同数であり、子宮がんと乳がんでは「地域」が多い。
- 平成 22 年度は、「地域」「職域」を合わせた受診者数が、主要部位のがん(胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)で前年度と比べて増加している。
- 平成 22 年度の対 20 年度比は、胃がん、大腸がん、子宮がんが「職域」が「地域」に比べて増加率、増加数ともに大きい。

胃がん検診の状況

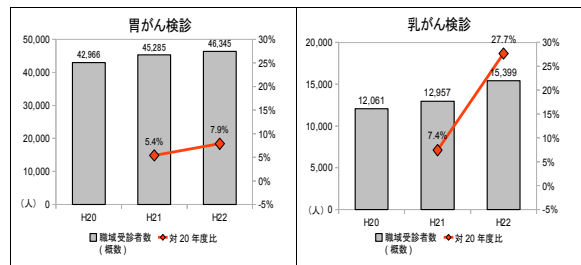


乳がん検診の状況



#### ② 市町の意向調査申込書による把握

- 全ての部位(胃、大腸、肺、子宮、乳房)のがん検診において、「職域」受診者数(概算)は増加している。
- 乳がんは大幅に増加している。これは鶴岡市で申込み提出数の算出に変更があったことによる。鶴岡市を除くと、22 年度 10.7 %の増加だった。(子宮がんも同様の傾向)



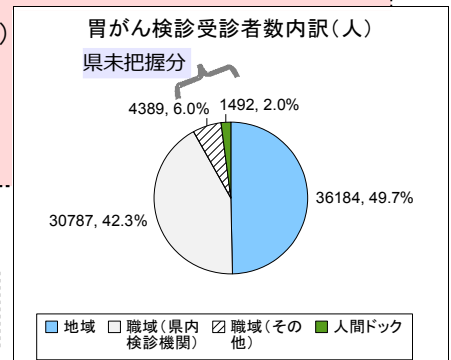
### 4. 考察 ⇒詳細は報告書第4章

#### この調査で分かったこと

- 当地域の状況として「職域」におけるがん検診受診者が一定数存在すること
- 「職域」における受診者数は「地域」のそれと比べて増加傾向にあること
- 諸調査では確認されていない、内視鏡による胃がん検診受診者が、一定数存在すること
- 「職域」における乳がん・子宮がん検診受診者数が少ないこと
- 県の「職域」未把握分で今回調査把握により 5,881 人いること(右図参照)  
⇒ 一地域の「職域」におけるがん検診受診者数の算出としては、細部に渡り最大限の情報を収集できた。
- 当報告の意義:「データ有用性の高さ」「がん検診対策の指標として活用」「受診者数把握方法の提示」「がん検診のあり方の考察のきっかけ」

#### 今後の課題

- 「今回調査で捕捉不能であった受診者」の捕捉必要性の有無
- 受診率の把握の有効性の有無
- 事業所勤務者のがん検診を担うのは「地域」か「職域」か



詳細は「[庄内保健所ホームページ](#)」に掲載しています。

庄内保健所

検索

お問合せ先

山形県庄内保健所 保健企画課 健康企画・調整担当

TEL : 0 2 3 5 - 6 6 - 5 4 7 6 (直通)